

武蔵野市立第五小学校及び井之頭小学校改築

基本計画・基本設計等業務委託に関する

公募型プロポーザル 審査講評

令和4年7月

武蔵野市立第五小学校及び井之頭小学校改築設計者選定委員会

はじめに

武蔵野市立第五小学校（以下、「第五小」とする。）及び井之頭小学校（以下、「井之頭小」とする。）改築事業（以下、「本事業」とする。）は、現在進行中である武蔵野市立第一中学校（以下、「第一中」とする。）及び第五中学校（以下、「第五中」とする。）に続く改築事業である。本事業では、「武蔵野市学校施設整備基本計画」、「武蔵野市立第一中学校改築基本設計」及び「武蔵野市立第五中学校改築基本設計」において示された武蔵野市のこれからの学校整備方針を踏まえつつ、第五小及び井之頭小の独自性、敷地特性及び地域性等を鑑みた基本計画の策定が求められるため、設計者の選定は極めて重要である。

これらのことを踏まえ、本事業にふさわしい設計者を選定するために、公募型プロポーザルを実施することとし、プロポーザルの審査は、改築校の校長、行政関係者からなる6名の委員で構成する「武蔵野市立第五小学校及び井之頭小学校改築設計者選定委員会」（以下、「選定委員会」という。）により行った。選定委員会では、審査に先立ち、教育や建築、都市に関する専門知識をもつ学識経験者から技術的な助言を求めた。審査にあたっては、各委員が学識経験者の助言を参考にしつつ、それぞれの専門分野での経験や知識を出し合い、厳正かつ慎重な議論を重ねた上で、本事業にふさわしい設計者を公正かつ適切に選定することに尽力した。令和4年5月16日及び令和4年6月28日に実施した選定委員会における審議及び審査を終えて優先交渉権者を選定したので、ここに審査講評を取りまとめる。

なお、多くの応募者から様々な素晴らしい提案をいただいたことに対して、本事業への熱意と努力に敬意を表するとともに深く感謝を申し上げたい。

武蔵野市立第五小学校及び井之頭小学校改築設計者選定委員会

委員長	樋爪 泰平	(武蔵野市教育部長)
委員	鈴木 恒雄	(武蔵野市立第五小学校長)
委員	小澤 香子	(武蔵野市立井之頭小学校長)
委員	小内 恵子	(武蔵野市総合政策部資産活用課長)
委員	村松 良臣	(武蔵野市教育部指導課長)
委員	西館 知宏	(武蔵野市教育部教育企画課 学校施設担当課長)

1. 1次審査

1次審査は、技術者の実績、チーム体制、スケジュール、取組方針における提案力について書面審査を行った。どの応募者においても、本業務を遂行できる能力を有すると判断できたが、総合的に評価した結果、上位5者を選定した。

開催日時 令和4年5月16日（月）

開催場所 武蔵野市役所 教育委員会室

<1次審査配点>

番号	評価項目	判断基準	配点
①	管理技術者・主任 担当技術者の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公立小学校（小中一貫校含む）の実績 +1.5点 ・公立中学校の実績 +1.2点 ・その他の教育施設の実績 +0.8点 ・ワークショップ、市民会議等の実績+0.5点 	14
②	本業務のチーム体制	<ul style="list-style-type: none"> ・2校のチーム構成は適切であるか。 ・適正に有資格者が配置されているか。 ・チームのバックアップ体制、チェック体制が適切に組まれているか。 	20
③	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なスケジュールが組まれているか。 ・スケジュール管理能力が評価できるか。 	20
④	業務取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地の特性をよく理解しているか。 ・設計コンセプトへの理解力、表現力、意欲があるか。 	46
			合計 100

<1次審査結果> ※会社名は申し込み順にAから割り振ったアルファベットで表記

順位	会社名	得点	備考
1位	D社	79.5	1次審査通過
2位	A社	75.3	1次審査通過
3位	G社	74.1	1次審査通過
4位	L社	69.8	1次審査通過
5位	I社	68.8	1次審査通過
6位	K社	67.3	
7位	B社	58.1	
8位	C社	56.4	
9位	H社	55.5	
10位	E社	49.4	
11位	J社	48.5	
12位	F社	48.1	

2. 2次審査

2次審査では、1次審査通過者5者からの技術提案書及びプレゼンテーション・ヒアリングにより、設計の方針・考え方、業務遂行能力について審査を行った。いずれの提案者も豊富な設計実績を有する設計者であり、提案書のレベルは総じて非常に高かった。特に上位2者においては、いずれも学校教育への知見の深さと、コンセプトを実現する優れた設計能力を有すると評価され、甲乙つけがたい提案であったが、各委員の知見を生かし、評価項目に対する判断基準を基に意見を交わしつつ、最終的には総合的に判断し、第1優先交渉権者を決定した。

開催日時 令和4年6月28日（火）午前8時40分から午後5時まで

開催場所 武蔵野総合体育館 3階視聴覚室

< 2次審査配点 >

評価項目	判断基準	配点		
		共通	五小	井之頭小
① 配置計画の考え方	敷地特性を理解しているか。 敷地の特性を踏まえた配置計画が検討されているか。 良好な景観形成への寄与が期待できるか。 動線計画が適切か。 法規制、諸条件を正しく理解しているか。	—	60	60
② コンセプトを実現する空間構成	市の考え方を理解しているか。 学校建築に関する知見や優れた計画力、発想力を有しているか。	130	—	—
③ メンテナンス性、フレキシビリティ確保、ライフサイクルコスト、パッシブデザイン	建物の維持管理に関する知識やフレキシビリティを確保するための知識を有しているか。 ライフサイクルコスト低減のためのアイデアを有しているか。 意匠とも整合をとりながら環境に配慮するための計画力、発想力を有しているか。	60	—	—
④ 実績	優れた実績があり、本業務への展開が期待できるか。	30	—	—
⑤ チーム体制、スケジュール	本業務を適切に遂行できる体制、スケジュールが組まれているか。	30	—	—
⑥ プレゼン力	説明や意見調整の能力を有しているか。	30		
⑦ 価格点	得点 = (最低価格 ÷ 提案価格) × 100 点	100	—	—
		合計 500		

< 2次審査結果 >

順位	会社名	技術点	価格点	合計得点	備考
1位	G社	297.1	86.5	383.6	第1優先交渉権者
2位	A社	284.6	89	373.6	第2優先交渉権者
3位	I社	206.3	100	306.3	
4位	D社	212.1	90.8	302.9	
5位	L社	195.4	88.6	284	

上記の結果から、第1優先交渉権者、第2優先交渉権者を次のとおり、選定した。

< 第1受注候補者 > G社

選定理由：各選定委員が採点した採点結果で最も合計点が高い提案者であったため。

< 第2受注候補者 > A社

選定理由：各選定委員が採点した採点結果で第1受注候補者に次いで、2番目に合計点が高い提案者であったため。

3 第1優先交渉権者（G社）に対する寸評

市のコンセプトを実現する空間構成の考え方が明快であり、「個別最適な学び」と「協働的な学び」への配慮を意識している点が高く評価された。また、正方形校舎の提案は、オープンスペースの使い方の自由度が高く評価された一方、配置計画上、重厚な建物形状への懸念もあった。

しかし、これからの学校教育への理解も深く、シンプルでありながらフレキシビリティに富んだ構造計画、環境への配慮を意識した設備計画、コストコントロールの考え方から、優れた設計能力を有すると高く評価した。また、模型を用いたプレゼンテーション・ヒアリングの対応も的確で、最も高い審査結果となった。

4 第2受注候補者（A社）に対する寸評

各学校の敷地形状・立地特性を踏まえつつ、既存校舎に合わせた長方形校舎の配置提案は、現実的で景観にも十分配慮され、高く評価された。市のコンセプト及びこれからの学校教育への理解が深く、プレゼンテーション・ヒアリングの対応も的確であった。一方、建物形状から、オープンスペースと避難経路との区分が不明確であり、法令遵守の観点で懸念もあった。